

法人（事業所）理念	私たちは、児童福祉事業という公益性の高い事業を行うにあたり、子どもたちやその家族の尊厳を守り、公正・公平を旨とし、全力を尽くして地域福祉の増進に貢献することを目指します。						
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ●発達支援 得意なこと・苦手なことや集団の中では見えにくい発達上の課題を共有し、直接的な働きかけを通じた保育ベースの療育活動をおこないます。 ●家族支援 家族は子どもにとって安全基地となる大切な存在です。療育の場だけでなく、ご家庭でも実践できる関わりについて考えます。 ●就学支援 子どもにあった就学先、就学を見据えた準備や心構えについてサポートしていきます。教育委員会や先輩お母さんたちとの情報交換の場も提供しています。 ●地域支援 子どもたちの育ちを支えるネットワークを築き、地域の子育て環境や支援体制の整備とその充実を図ります。学校や関係機関との連携をおこない、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えていきます。 						
営業時間	8時	00分	17時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康の増進 睡眠・食事・排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるように、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下・姿勢保持・自動具等に関する支援をおこなう。さらに、病気・感染症予防や安全への配慮をおこなう。 ●基本的な生活スキルの獲得 身の回りを清潔に保ち、食事・衣服の着脱・排泄等の生活に必要な基本的な技能を獲得できるように支援する。 ●構造化等により生活環境を整える 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるように環境を整える。また、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●姿勢と運動・動作の基本的な技能の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 ●保有する感覚の活用 保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるように、遊びを通して支援する。 ●感覚の特性（感覚過敏・鈍麻）への対応 感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をおこなう。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●感覚や認知の活用 視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援をおこなう。 ●知覚から行動への認知過程の発達 環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 ●認知や行動の手がかりとなる概念の形成 物の機能や属性・形・色・音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるように支援する。 ●認知の偏りへの対応 認知の特性を踏まえて、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援をおこなう。 ●行動障害への予防及び対応 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援をおこなう。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●言語の形成と活用 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援をおこなう。 ●受容言語と表出言語の支援 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援をおこなう。 ●人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援をおこなう。 ●指差し・身振り・サイン等の活用 指差し・身振り・サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ●読み書き能力の向上のための支援 発達や障害特性に応じた読み書きの能力の向上のための支援をおこなう。 ●コミュニケーションツールの活用 各種の文字・記号・絵カード等のコミュニケーション手段を適切に選択し、活用することで、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●アタッチメント（愛着行動）の形成 人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をおこなう。 ●模倣行動の支援 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 ●感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ●一人遊びから協同遊びへの支援 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ●自己の理解とコントロールのための支援 大人を介して自分のできること、できないこと等、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ●集団への参加への支援 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。 					
家族支援	こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助、子育てや就学に関する情報交換ができる機会提供等の支援をおこないます。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備、事業所以外の生活や育ちの場である併行利用先の保育所・学校等での生活や支援充実、こどもが地域で暮らす他のこどもと繋がりながら日常生活を送ることができるようにすること等の支援をおこないます。				
地域支援・地域連携	こども・家族の生活や育ちの支援にかかわる保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関や障害福祉サービス等事業所等と連携した支援をおこないます。	職員の質の向上	毎月研修日を設け、虐待・人権・感染症・身体拘束等の法定研修を実施。また、専門性向上を図るための内部研修の開催及び外部研修への参加機会を促す。非常災害時に備えた避難訓練及び救命救急講習等を年間で実施。				
主な行事等	児童発達支援事業所連絡会／健康診断／避難訓練／総合防災訓練／救命救急講習／就学を考える会／ピオトープDAY／公開療育／成長を祝う会／卒園の会 来園指導（言語聴覚士・理学療法士・わらべうた）						